

# 連携だより

令和7年

1 月号

令和7年1月1日発行

独立行政法人 国立病院機構  
呉医療センター・中国がんセンター  
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1  
0823-22-3111(代)

紹介予約専用  
TEL 0823-22-3816  
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

理念  
思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します

1月の花 オウバイ



## 今月号のトピックス

- 地域医療連携部長挨拶 河野 博孝 …… 1
- 連携病院紹介 …… 2
- 乳がんサロンを聴講して 緩和ケア認定看護師 中西 貴子 …… 3
- 呉中通病院とのリハビリテーション部門間交流の取り組み  
理学療法士長 日浦 雅則 …… 4
- サロンだより ソーシャルワーカー 中村有紀子 …… 6



## 地域医療連携部長挨拶



地域医療連携部長  
河野 博孝

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

令和6年はコロナ禍にて5年間中断となっていた第五回地域医療連携つどいの会を10月10日にクレイトンベイホテルで開催させて頂き、多くの医療機関の方に参加頂き盛会裏に終えることが出来ました。これも一重に当院と連携して頂いている皆様方の御協力の賜物と感謝しております。

地域連携については、引き続き「地域から選ばれる地域医療連携室」を目指して取り組んでいきたいと考えており、取り組みの1つとしては、繁田院長をはじめ田代副院長、各科科長で、地域の多くの医療機関に訪問させていただきました。呉医療センターの地域連携への取り組みや各科の特徴の説明をさせていただき、また連携に際しての問題点、改善点のご指導も多くご教授いただきました。

それらご意見を大いに参考にし、本年度はさらによりよいスムーズな地域連携を目指します。また、入退院支援に関しましては、連携医療機関の皆様からもご意見を頂き、円滑で正確な退院支援ができるように努力してまいります。

まだまだ、至らない点が多々ありますが、今後も地域医療機関の皆様との連携を密にしていきたいと考えており、皆様方の忌憚のないご意見をお願いいたします。

本年も変わらぬお引き立てのほどよろしく願いいたしますと共に、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

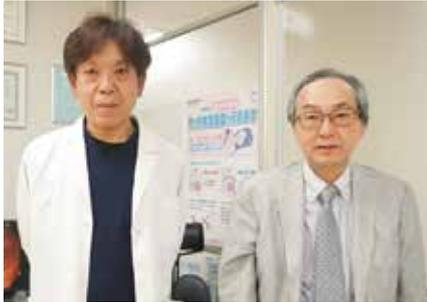
## 連携病院紹介



● 医療法人エム・エム会  
マッターホルンリハビリテーション病院 ●



● 医療法人社団 大下クリニック ●



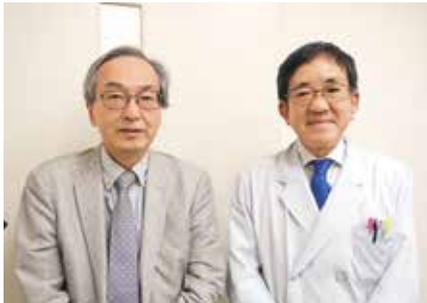
● 医療法人社団 恒久会  
中前外科内科クリニック ●



● 医療法人社団 仁井谷医院  
にいたにクリニック ●



● 山尾医院 ●



● 医療法人 児玉クリニック ●



● 土本内科消化器科医院 ●



● よしかわ医院 ●



● 医療法人香会 岡村医院 ●



● 医療法人社団 ひかり会  
木村眼科内科病院 ●



● 医療法人社団 野間クリニック ●



# 乳がんサロンを聴講して

がん相談支援センター 緩和ケア認定看護師 中西 貴子

2024年11月28日に広島大学病院乳腺外科診療准教授の重松英朗先生を招き、乳がんサロンを開催しました。

最初に乳がんの疫学を説明された後、乳がんの最新治療として、切らない治療（穿刺して焼却する）が、広島大学病院及び広島市立広島市民病院で始まっていることを紹介されました。放射線療法や薬物療法を併用することで、手術はよりコンパクトに行うことを目指し、予後が厳しいと言われるトリプルネガティブ乳がんは、免疫治療など複合的治療を行うことで根治性や延命治療につなげる等、乳がん治療の二極化が進んでいることを教えていただきました。

また、HER2陽性乳がんの脳転移にはエンハーツ療法に高い効果が得られたことなど、広島大学病院で治療・研究をされている先生ならではのお話もありました。会場からも「オンコタイプDXは手術標本がないと受けられないのでしょうか?」といった専門的な質問もあり、針生検標本でも保険診療で受けられることを教えていただきました。アンケートの結果からも「『スーパードクターではなく、普通の医者がいい医療をします。安心して下さい』というメッセージが印象的だった。」「治療成績が上がっていることがわかり希望が持てた。」「前向きな気持ちになれた。」など、好意的な感想や意見を沢山いただきました。

講演会のあとも、近況を報告する患者さんに囲まれ、写真撮影やサインに応じる姿を拝見し、患者さんにとって手術をしていただいた医師は特別な存在であることを再認識しました。今回、院外講師を招聘して開催したサロンに37名もの方が参加されましたが、他院通院中の患者さんや乳がん以外の患者さんの家族も参加され、盛況なサロンとなりました。



演者  
広島大学病院 乳腺外科診療准教授  
重松 英朗先生



座長  
副院長  
大庭 信二



講演会風景



左から：乳腺外科 川又 あゆみ、乳腺外科MC 中川 智晶、乳腺外科科長 吉山 知幸、  
広島大学病院 乳腺外科診療准教授 重松 英朗先生、副院長 大庭 信二

# 呉中通病院とのリハビリテーション部門間交流の取り組み

呉医療センター 理学療法士長 日浦 雅則

この度、呉中通病院とのリハビリテーション部門間交流の取り組みとして、11月18日（月）から11月22日（金）の5日間、呉中通病院リハビリテーション部のスタッフ3名が当院にてリハビリテーション見学研修を実施しました。呉中通病院と呉医療センターのリハビリテーション部門の連携強化や人材育成を目的とし、臨床場面やカンファレンスの見学、症例に関するディスカッションなどを行いました。

## ～リハ部門間交流に参加いただいたみなさん～

### 呉中通病院 理学療法士 秋田 桃子さん

このたび5日間研修させていただきました。回復期では病状の安定している方が多いため全身状態の管理が必要な方がほとんどおらず、私は怖さなどから早期離床への不安がありました。しかし貴院では安全に配慮しながら早期から離床を開始されており、この早期離床が患者様の回復・今後の生活に繋がっていると実感しました。また当院では、循環器や呼吸器、がん疾患に対するリハビリを行うことはありませんが、既往として多くの方が持っておられます。これらの疾患に対するリハビリの介入目的やリスク管理などの部分で知らないことも多く非常に勉強になりました。お忙しい中、このような機会をつくっていただきありがとうございました。

### 呉医療センター 理学療法士 村上 隆一

整形外科領域の見学研修を通じて、特にリスク管理面の違いを強く感じました。急性期では、生体モニターによる常時バイタルサインの監視や点滴の持続投与、酸素吸入を行った状態でのリハビリテーションが日常的に実施されています。一方で、回復期病院ではこれらの状態でリハビリテーションを行えない場合があると知り、急性期では急変時に対応できる人員や病院機能が整備されているからこそ可能であると実感しました。また、診療情報提供書の重要性や、病期に応じたリハビリテーションの展開方法の違いについても学ぶことができました。これらの経験を通じ、リハビリテーションの実施環境と医療チームの連携の重要性を改めて認識しました。

### 呉中通病院 作業療法士 神垣 潤さん

私たち回復期病院では、当然のように状態が落ち着いた患者様に対してリハビリを提供させていただいていますが、今回急性期病院でのリハビリを近くで見学しカンファレンスに参加させていただいて、多くの苦労や困難を経て回復期病院へ繋いでくれていることを知りました。引き継いだバトンをしっかりとし、回復期病院として担うべき仕事を遂行しなければと改めて感じました。

最後になりましたが、この度はお忙しい中、貴重な機会をつくってくださり、ありがとうございました。

### 呉医療センター 作業療法士 中矢 真絵

半日ほど血液内科の患者様を中心に臨床場面の見学を実施しました。血液内科の説明や注意点、造血幹細胞移植、クリーンルームについての説明後に見学を実施しました。造血幹細胞移植については、資料を見てもらいながら説明をし、リハビリ実施時の注意点等の質問を受けました。クリーンルームの見学も風が頭側から足元に吹いていることや、圧がかかっていること等に新鮮な驚きを示されていました。

### 呉中通病院 言語聴覚士 中元 洋介さん

急性期での言語聴覚士の方々の訓練場面などを見学することができ、自分を取り組めそうなところを日々の臨床に取り入れてみようと思いました。嚥下やNSTのことで悩むことが多いのですが、貴院でのNSTの活動や食事形態、嚥下内視鏡検査を見ることができ、回復期での活動に繋がっていかれたらと思います。

お忙しい中、5日間という貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

## 呉医療センター 言語聴覚士主任 松川 陽平

STの見学対象は主に急性期嚥下のリスク管理だったかと思います。情報収集、現場での対応、評価・リハビリの注意点等について、急性期独特の状況から回復期にも共通する点まで多様な様相が観察できたのではないのでしょうか。また、個々のリハビリ場面では、回復期の立場から貴重なアドバイスもいただきました。私達も大変有益な時間を共有できたこと感謝しております。



左から：理学療法士長 日浦 雅則、言語聴覚士 三上 紀子、呉中通病院 理学療法士 秋田 桃子さん、言語聴覚士 中元 洋介さん、リハビリテーション科医長 井口 紘輔、言語聴覚士 中山 智賀、作業療法士長 山本 弥生



医療法人社団中川会 呉中通病院訪問

後列左から：呉中通病院 リハビリテーション部部長 栗原 賢さん、地域連携室室長 森山 珠美さん、呉医療センター作業療法士長 山本 弥生、理学療法士長 日浦 雅則

前列左から：呉中通病院 院長 中川 豪先生、呉医療センター リハビリテーション科医長 井口 紘輔



井口医長と面談中の様子



リハビリテーション見学中  
呉中通病院 理学療法士 秋田 桃子さん、  
患者さん、理学療法士 平垣内 匡仁



医療法人社団 中川会  
呉中通病院にて



6月のがんサロンは、14日（金）に開催されました。テーマは「がん薬物療法について」でした。講師は、薬剤師の景山康二郎さんです。

## がん薬物療法とは？

細胞障害性抗がん剤・分子標的薬・ホルモン薬・免疫チェックポイント阻害薬といった薬剤を用いてがん細胞の増殖・浸潤・転移を抑制する治療の総称のことを言います。

### 1. 5つの治療法について

#### ① 術前化学療法

手術の前に腫瘍を小さくして手術しやすい状態にすることを目的に行います。手術前に薬の効果を最大限引き出せるよう規定量のお薬を使用したい治療です。一方で、手術が控えていますので副作用でしんどくなりすぎていないか？ということにも注意が必要な治療でもあります。



#### ② 術後化学療法

手術でがんを取り除いても体内に残っているかもしれない微小ながんを薬でたたくことで再発のリスクを低減させる治療です。一般的に術後は抗がん剤による副作用が出現しやすいといわれていますので、規定量よりも少なくした量で行うこともあります。

#### ③ 放射化学療法

放射線療法と薬物療法を同時に行い、がんを小さくすると同時に転移や再発を予防する治療法です。抗がん剤と放射線治療を同時に行うことで、放射線による効果を増強させる狙いもあります。



#### ④ 進行・再発がんに対する化学療法

手術などによる治療が行えない場合は、がんの進行を遅らせることを目的とした治療を行います。いわゆる延命治療です。効果を定期的にCTなどの画像で評価しながら行います。腫瘍の大きさや数が変わっていなければ効果ありと判断し継続します。多くの場合、期間による治療の終わりはありません。

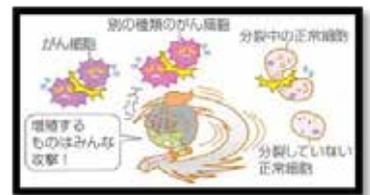
#### ⑤ 血液がんに対する化学療法

血液のがんでは、手術による治療が行えないため、薬物療法が中心となります。他の治療としては、放射線療法や造血幹細胞移植などの治療法もあります。薬物療法の目的は、病気の症状が軽減またはほぼ消失し、臨床的にコントロールされた状態（＝寛解）になることです。

### 2. がん薬物療法の主役である抗がん剤について

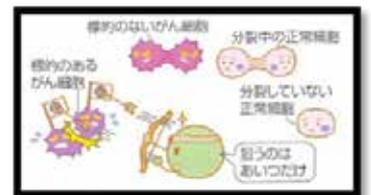
#### ① 細胞障害性抗がん剤

いわゆる抗がん剤のことで、細胞分裂が活発な組織に対して作用を発揮してしまうため、がん細胞もがんではない細胞も区別することなく薬の影響が出てしまいます。そのため、白血球の低下や吐き気、下痢、脱毛といった副作用が現れることがあります。



#### ② 分子標的薬

がん細胞に発現している特定の目印をめがけて作用する薬です。標的のないがん細胞や標的のない正常細胞には作用しません。使用する前にはちゃんとその標的が発現しているかあらかじめ確認してから使う場合もあります。分子標的薬の副作用は標的となる分子に特異的なものが多く、皮膚障害や血圧の上昇などがあげられます。

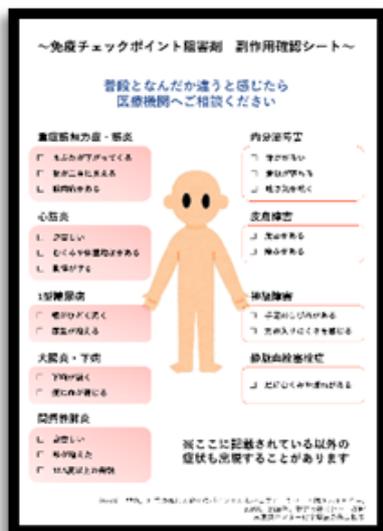


#### ③ ホルモン薬

主に乳がんや前立腺がんなどで用いられる薬剤です。乳がんでは女性ホルモンを減らしたり、働きを抑えたりする目的で使用します。前立腺がんでは、男性ホルモンを減らしたり、働きを抑えたりする目的で使用します。更年期様症状やほてりなど、ホルモンバランスの変化に伴う副作用が発現することがあります。

#### ④ 免疫チェックポイント阻害薬

免疫が本来の働きを取り戻すようにお薬が免疫を賦活化させる薬です。副作用は賦活化された免疫の暴走による正常な細胞への攻撃です。これを免疫介在性有害事象（irAE）と呼んでいます。免疫が関連する組織で起こる可能性があるため、対象範囲は全身となります。当院では免疫チェックポイント阻害薬を使用している患者さんには副作用確認シートを点滴のたびに配布しております。



#### ④ 手足症候群

手のひらや足の底に、赤み・痛み・水ぶくれ・亀裂などの皮膚症状が現れる副作用です。手足を清潔に保ち、保湿をしっかりと行うことで重症化を予防できるといわれています。保湿剤の使用は最低でも1日2回は行いましょう。また窮屈な靴や熱いお風呂やシャワーなどの使用は避けましょう。

#### ⑤ 脱毛

抗がん剤を使用して、2～3週間ごろから髪の毛や体毛が抜け始めることが多いです。髪の毛を引っ張ると簡単に抜けてしまうため自分で抜いてしまう方もいらっしゃいますが、無理やり抜くのは避けてください。外見に大きな変化をもたらす副作用であり、心理的・社会的なダメージを受けてしまう副作用の一つです。補助金制度などもあり、ウィッグの購入など事前の準備ができることもありますので、ぜひ医療者までご相談ください。

### 3. 代表的な副作用

#### ① 骨髄抑制

血球には、白血球・血小板・赤血球があり、これらは主に骨髄中の造血幹細胞が分裂・分化することで産生されています。造血幹細胞は正常な血球数を保つために活発な細胞分裂を繰り返していることから、抗がん剤の影響を受けやすく、骨髄の造血機能が障害されることを骨髄抑制といいます。白血球の中でもとくに重要な好中球が減少すると感染しやすくなる（＝易感染）ことが問題となります。治療を受けた10日～14日ごろが一番減少する時期となりますので、その時期の発熱には特に注意が必要です。

#### ② 悪心嘔吐



吐き気が出る時期やタイミングにより急性、遅発性、突発性、予期性の悪心嘔吐に分けられます。分類により使用する吐き気止めが異なる場合があります。吐き気止めの使い分けや組み合わせは制吐薬適正使用ガイドラインといった指針をもとに使用してします。

#### ③ 下痢

整腸剤や下痢止めを使用して下痢の症状を抑えます。下痢をしている最中は水分の喪失による脱水に注意が必要です。症状がある間はアルコールやカフェイン・香辛料などの刺激物の摂取は控えましょう。

### 最後に・・・

薬物療法はがんの種類によって様々な薬を使用します。薬が違えば副作用も異なります。皆さんが使用しているお薬について、相談や質問などがありましたらご相談ください。薬剤師は地下1階の薬局・外来の化学療法センター・各病棟に配置されております。



どの薬剤師でも相談していただいて結構ですのでどうぞお気軽にお声かけください



#### 【事前申し込み・お問い合わせ先】

呉医療センター・中国がんセンター  
がん相談支援センター

☎：0823-24-6358（直通電話）

平日：9時～16時

よろず・がん相談窓口（④番窓口）

平日：8時30分～17時15分

編集：がん相談支援センター



令和6年度第2回 法定研修

# 医療安全講習会

日時：令和7年1月31日（金）18：00～19：00

会場：地域医療研修センター1・2、3

座長：呉医療センター 医療安全管理部長（副院長）大庭 信二

2年目を迎えた当院の院内迅速対応システム

（Rapid Response System）の現状について

— 適切なシステム起動を病院の文化として根付かせるために —

呉医療センター 救命救急センター部長 岩崎 泰昌



～あんぜん・かんせん・ほうしゃせん～

麻酔科で学びたい医療マナー【医療安全編】

自治医科大学附属病院麻酔科 周術期センター長 病院長補佐

鈴木 昭広



30年にわたる学生・研修医指導を通じて、演者が感じることは、彼らに伝えるべきこと  
手術麻酔を通じて

- ①いのちのトリセツ：いわゆる急変対応と自己心拍再開後の全身管理、そして
  - ②医者のマナー：医療あんぜん、かんせん制御、ほうしゃせん防護だと考えている。
- 今回は、医療安全を中心にお話したい。

**専門医共通講習：医療安全（必須）1単位対象研修です。事前申し込みは不要です。**

**研修の終了をもって後日、受講証明書を発行いたします。**

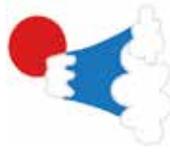
■当日は、ご施設名、ご芳名の記帳をお願い申し上げます。

ご記帳いただきましたご施設名、ご芳名は医薬品の適正使用情報および医学、薬学に関する  
情報提供のために利用させていただくことがございます。何卒、ご理解とご協力を賜りますよう  
お願い申し上げます。

〒737-0023 呉市青山町3番1号  
呉医療センター・中国がんセンター  
管理課：TEL (0823-22-3111)



# 1月の時間外 研修会 / 勉強会



[連絡先]

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係 (教育企画部)  
 広島県呉市青山町3番1号 / TEL: 0823-22-3111 / 本メール: https://kure.hosp.go.jp



研修会名	日時	場所	講師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
消化器合同オープンカンファレンス 肝・胆・膵及び上部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討	1月8日 (水) 18:00~	地域研修センター 1・2	呉医療センター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器外科	○	全職種
おくすり勉強会 「医療用麻薬について」	1月20日 (月) 18:00~	11F カンファレンス室	呉医療センター 薬剤部 羽山 園佳奈子 阿井 泉奈子	薬剤部	院内向け	看護師 助産師 コメディカル
医療機器安全使用に関する研修会 補助循環装置 SP-200 「PCPS」について	1月21日 (火) 17:30~18:30	11F カンファレンス室	呉医療センター ME管理室 村高 拓央	ME管理室	院内向け	全職種
令和6年度第2回 法定研修 医療安全講習会 「2年目を迎えた当院の院内迅速対応システム (Rapid Response System) の現状について」 一適切なシステム起動を病院の文化として根付かせるために 「～あんぜん・かんせん・ほうしゅしゃせん～ 麻酔科で学びたい医療マナー【医療安全編】」	1月31日 (金) 18:00~19:00	地域研修センター 1・2、3	呉医療センター 救命救急センター部長 岩崎 泰昌 自治医科大学附属病院麻酔科 周術期センター長 病院長補佐 鈴木 昭広 先生	管理課	○	全職種



〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 地域医療連携室  
 独立行政法人 国立病院機構 河野 博孝 寺尾 秀二  
 呉医療センター・中国がんセンター 竹中 恵子 折本 陽一  
 片山 千雪

(紹介予約専用電話)

TEL: (0823) 22-3816 FAX: (0823) 32-3070